



プログラム

Opening remarks 10:00 ~ 10:05 第1会場

木村 文彦 (防衛医科大学校病院 血液内科)

赤血球/CLL/CML 10:05 ~ 11:05 第1会場

座長：臼杵 憲祐 (NTT 東日本関東病院 血液内科)

1. 基礎疾患に原発性免疫不全症があると考えられた自己免疫性溶血性貧血 (AIHA) の 14 歳男児例

小倉 友美 (防衛医科大学校 小児科学講座)

2. 手術により根治したエリスロポエチン産生巨大子宮筋腫による二次性多血症の 1 例

林田 裕樹 (NTT 東日本関東病院 血液内科)

3. 発作性夜間血色素尿症 (PNH) に伴った虚血性腸炎に対する eculizumab 療法

安永 愛 (東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科)

4. Gy-globin chain variant による異常ヘモグロビン症の 1 例

小山 哲 (横浜市立大学医学部 血液・免疫・感染症内科学)

5. 慢性リンパ性白血病に対するイブルチニブ治療—当科で経験した 3 症例—

金子 直也 (まつもと医療センター松本病院 血液内科)

6. 低用量ダサチニブで IS 0.0029% (MR4.5) に到達した慢性骨髄性白血病の 1 例

傳田 竜之介 (東京都済生会中央病院 臨床研修室)

特別講演 11:10 ~ 12:00 第1会場

座長：木村 文彦 (防衛医科大学校病院 血液内科)

骨髄増殖性腫瘍の病態と治療

下田 和哉 (宮崎大学医学部 消化器血液学分野)

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

ランチョンセミナー 1 12:20 ~ 13:10 第1会場

座長：木崎 昌弘 (埼玉医科大学総合医療センター 血液内科)

再発性急性リンパ性白血病の治療 薬剤を中心に

山内 高弘 (福井大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科)

共催：ファイザー株式会社

座長：岡村 隆光（獨協医科大学埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科）

7. 寛解導入療法中に広範囲脳梗塞を呈した急性前骨髄球性白血病の症例
神田 優美（上尾中央総合病院 血液内科）
8. 透析患者に APL を合併し，ATRA+ATO 併用療法で完全寛解を達成した 1 例
長尾 陸（川口市立医療センター 血液内科）
9. ATRA・ATO 併用療法により寛解を維持している再発性治療関連急性前骨髄白血病的 1 例
前田 愁一郎（新潟大学医歯学総合病院 血液・内分泌・代謝科）
10. 良好な経過を辿った t(6;21;8) (p23;q22;22) を有する急性骨髄性白血病の 1 例
和田 敦司（がん・感染症センター都立駒込病院 血液内科）
11. B-lineage と同様の治療をした Philadelphia+ T-lymphoblastic lymphoma
曾根 岳大（防衛医科大学校病院 血液内科）
12. Major および minor BCR/ABL1 キメラ遺伝子陽性であった MPAL
濱田 隆行（埼玉医科大学総合医療センター 血液内科）

座長：渡邊 純一（埼玉医科大学総合医療センター 血液内科）

13. 2 回の臍帯血移植後の再発に対し，ネララビンが有効であった T 細胞性急性リンパ性白血病
吉森 恵未（杏林大学医学部 第二内科）
14. 同種移植施行 6 年後に痙攣を契機に中枢神経再発と診断された AML with MRC の 1 例
齋藤 啓太（防衛医科大学校病院 血液内科）
15. 造血幹細胞移植後に腔腫瘍として再発した急性単球性白血病の 1 例
杉浦 圭（東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科）
16. 急性骨髄性白血病に対する骨髄破壊的前処置を用いた臍帯血移植後の自己造血回復
後明 晃由美（自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科）
17. 同種移植後に髄液の NK 細胞増加がみられ NK 細胞リンパ腫の再発が疑われた CMV 髄膜炎の 1 例
川上 史裕（信州大学医学部附属病院 血液内科）
18. 同種臍帯血移植後に，明らかな GVHD の経過がなく GAVE を合併し APC が有効であった症例
石綿 一哉（虎の門病院分院 血液内科）

座長：脇本 直樹（埼玉医科大学 血液内科）

19. 形質細胞内に針状結晶封入体を認めた多発性骨髄腫/LCDD
大原 慎（永寿総合病院 血液内科）
20. BD 療法後早期に舌の歯列圧痕の改善を認めた原発性アミロイドーシス
奥田 糸子（埼玉医科大学 血液内科）
21. トシリズマブが有効であった Castleman 病に合併する POEMS 症候群
糸井 覚（東京女子医大 血液内科）
22. 胆嚢病変にて診断確定した中枢神経原発成人発症ランゲルハンス細胞組織球症
近藤 幹也（東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科）
23. 化学療法抵抗性であった BRAF（V600E）変異陰性の Langerhans 細胞肉腫の 1 例
坂本 百萌（筑波大学医学医療系 血液内科）

座長：三谷 絹子（獨協医科大学 内科学（血液・腫瘍））

骨髄異形成症候群（MDS）の形態診断---WHO 分類 2017 年版をふまえて

通山 薫（川崎医科大学 検査診断学教室）

共催：日本新薬株式会社

座長：久保田 靖子（埼玉県立がんセンター 血液内科）

24. 心タンポナーデで発症し経時的に変化する不整脈を伴ったびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫
馬場 勇太（昭和大学医学部 内科学講座血液内科学部門）
25. c-myc, bcl-2 及び cyclinD1 転座を有する aggressive B 細胞リンパ腫
西島 暁彦（武蔵野赤十字病院 血液内科）
26. メトトレキサート関連胃原発 DLBCL の 1 例
川口 憲治（東京女子医科大学東医療センター 卒後臨床研修センター）
27. Hodgkin lymphoma と DLBCL による MTX 関連 composite lymphoma
森山 充（東京医科大学病院 血液内科）
28. 関節リウマチに対するメトトレキサート内服中に発症した、血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫
小林 洋行（那須赤十字病院 血液内科）
29. 血液透析中に発症したシクロスポリンが一因と考えられた形質芽球性リンパ腫に化学療法が奏効した 1 例
阿久澤 有（埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科）

座長：佐藤 謙（防衛医科大学校病院 血液内科）

30. 脛骨原発のびまん性 B 細胞リンパ腫（DLBCL）の 1 例

古川 翔（獨協医科大学埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科）

31. ALK 陽性の骨原発未分化大細胞リンパ腫

藤田 進也（慶應義塾大学病院 血液内科）

32. 著明な全身性浮腫で発症した血管免疫芽球性リンパ腫

高田 耕平（防衛医科大学校病院 血液内科）

33. 全身性エリテマトーデスを合併した血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫

鈴木 潤（山梨大学 血液・腫瘍内科）

34. 肺高血圧症を契機に、皮膚生検・肺生検で診断された血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫

枝廣 陽子（順天堂大学医学部 内科学血液学講座）

35. 濾胞性リンパ腫に随伴して発症したと考えられた重症筋無力症の 1 例

服部 大樹（東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科）

座長：本村 小百合（多摩北部医療センター 血液内科）

36. Eltrombopag 投与中骨髓線維化を来し無効となるも romiplostim が有効であった ITP

新井 ほか（獨協医科大学 内科学（血液・腫瘍））

37. 急性心筋梗塞を契機に判明した血栓性血小板減少性紫斑病

塚田 明彦（群馬大学内科診療センター 血液内科）

38. 重症型血友病 A の 7 ヶ月女児例

高梨 愛佳（防衛医科大学校 小児科学講座）

39. 開心疣贅切除術がソースコントロールとして奏効した *Aspergillus* 性心内膜炎および多発脳膿瘍

川口 慎一郎（自治医科大学 内科学講座血液学部門）

40. 流産を契機に発症した TAFRO-like SLE の 1 例

道下 雄介（北里大学医学部 血液内科学）

木村 文彦（防衛医科大学校病院 血液内科）